

## 高卒程度 公務員試験対策 自然科学テキスト&amp;問題集 正誤表

KK2301

高卒程度 公務員試験対策 自然科学テキスト&問題集に誤りがございました。訂正し、お詫び申し上げます。

該当箇所	誤	正
P169 地学4章	<b>3. ケプラーの法則</b> iii) 第3法則…惑星と太陽の平均距離の3乗と公転周期の2乗との比は、惑星によらず～	<b>3. ケプラーの法則</b> iii) 第3法則…惑星と太陽の平均距離の3乗と惑星の公転周期の2乗との比は、惑星によらず～
P169 地学4章 例題2	C 惑星と太陽との平均速度の3乗と公転周期の2乗との比は、どの惑星についても一定である。	C 惑星と太陽との平均距離の3乗と惑星の公転周期の2乗との比は、どの惑星についても一定である。
P171 地学4章 問題4 選択肢4	<b>4</b> 視太陽時とは、太陽の日周運動の周期を1年を通じて平均したものを1日の長さとし、それをもとにx間と時刻を定めたものである。	<b>4</b> 視太陽時とは、太陽の日周運動の周期を1年を通じて平均したものを1日の長さとし、それをもとに時間と時刻を定めたものである。
P175 地学5章 問題2 記述A	A 大気の循環による縞模様が見られる太陽系最大の星で、岩石などの核の周りを、水素とヘリウムを成分とするガスが取り囲んだ構造をしている。	A 大気の循環による縞模様が見られる太陽系最大の惑星で、岩石などの核の周りを、水素とヘリウムを主成分とするガスが取り囲んだ構造をしている。
P178 地学5章 問題10 選択肢1	<b>1</b> 地球から見た天体の明るさを見かけの等級といい、明るいほど等級は大きくなる。	<b>1</b> 地球から見た天体の明るさを見かけの等級といい、明るい星ほど等級は大きくなる。

※最新の正誤情報はウイネットホームページ (<https://wenet.co.jp>) で公開しております。

[商品カテゴリー] → [公務員試験] を選択し、該当書籍の詳細ページをご確認ください。